



蚊を発生させないで！

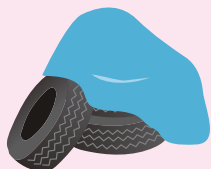
5月中旬から10月下旬にかけてのヒトスジシマカが活動する時期は、特に注意が必要です。

■ 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな水たまりの除去・清掃をしましょう。

水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル



詰まった排水溝

出典：厚生労働省

■ 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。

なぜ対策が必要？

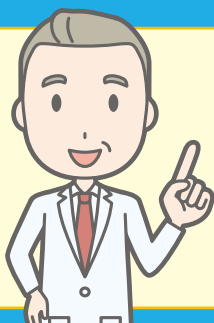
ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。海外の流行地(東南アジア、中南米)で感染した人が国内で蚊(日本ではヒトスジシマカ)に刺されると、その蚊がウイルスを持った蚊になり、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。



ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる？

発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。感染しても症状が出ない人もいます。

ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱ではデング出血熱となり重症化することがあります。



ヒトスジシマカ

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林、竹林、藪、墓地、公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50m~100m程度です。

出典：国立感染症研究所

金沢市保健所 地域保健課

金沢市西念3丁目4番25号

TEL 234-5102

FAX 234-5104